

防災への関心深めて

こそだて シップ「ママフェスタ」開催

9月に大船渡で

大船渡市のNPO法人こそだてシップ（伊藤怜子理事長）主催

の参加を呼びかけている。こそこだてシップは気

の「乳幼児の防災&ママフェスタ」は、9月

仙の助産師や看護師経験者らでつくり、平成

2日（土）午前10時か

23年から活動を開始。同25年にNPO法人化

ら盛町のリアスホール

し、翌26年には盛町のサン・リア内に「すく

で開かれる。東日本大

すくルーム」を開設した。ここを拠点として、

子どもや母親らに、防

もってからおうと、初めて開催する。公益財

災の関心を深めてもら

めて開催する。公益財

おうとの催しで、多く

を行う。

た。

会場ではこのほか、子どもが遊べるキッズ

た。

スライダーを設け、紙芝居、フラワーアレンジメント、ハンドマツ

た。

サイズ、ネイルアート（先着10人まで）といったコーナーも。

た。

入場料は家族3000円。事前申し込み不

た。

9月に「乳幼児の防災&ママフェスタ」を開

た。

催

た。

催

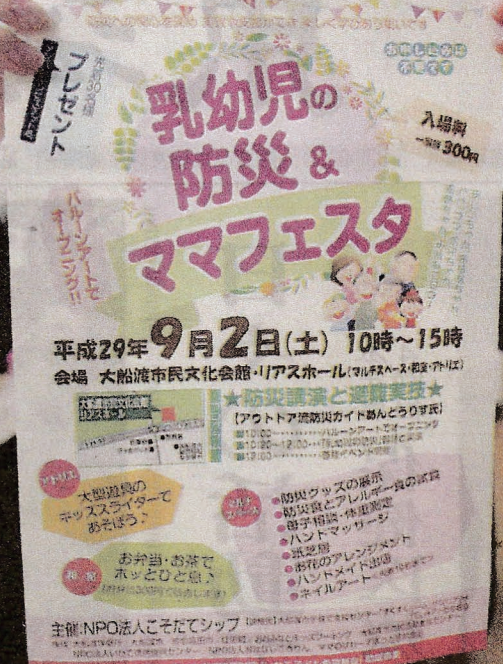
た。

催

要。先着30人へのプレゼント、昼食（3000円）も用意している。伊藤理事長は「震災時、公的支援が届くまでどうすればいいかなどの課題が浮き彫りになった。震災を体験していない子育て世帯も増えており、備えることの大切さを伝えたい」と話している。問い合わせは、こそだてシップすくすくルーム（TEL47・5689）まで。

問い合わせは、こそだて

まで。



催